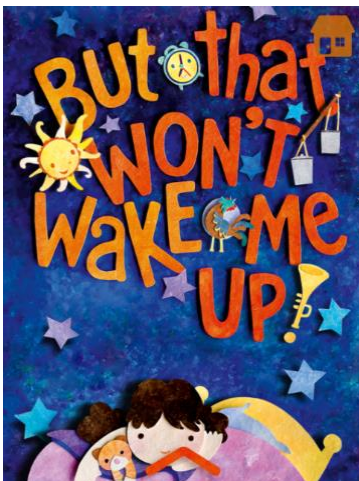

フィリピンこども向けデジタルえほんアプリ 「おきられなかったら どうする？(But That Won't Wake Me Up!)」 日本語版配信スタート！

株式会社デジタルえほん(本社:東京都台東区、代表取締役:石戸奈々子)は、こども向けデジタルえほんアプリ「おきられなかったら どうする？(原題:But That Won't Wake Me Up!)」の日本語版をフィリピンAdarna House Inc. と共同開発し、日本国内向けに提供を開始しました。

「おきられなかったら どうする？」は、国境を越えて世界のこどもたちに愛されるフィリピンのデジタルえほんです。朝早く起きられるか心配なまやちゃん。そんなまやちゃんとお母さんは、たくさんの面白いアイデアで、朝早く起きる方法を考えます。紙の絵本は、Filipino Readers' Choice Awards (2012)受賞、またデジタルえほんは、第4回デジタルえほんアワード入賞作品です。イラストをタップしてみると、あら不思議！音が鳴ったり、動き始めたり。また、自分の声を録音し、読み聞かせを行うこともできます。デジタルならではのインタラクティブな仕掛けは必見です。日本語・英語・フィリピン語に対応したデジタルえほんは語学学習にも最適です。

日本語版の制作にあたり、デジタルえほん社は日本語翻訳及び日本語版における作品監修を行いました。デジタルえほん社は今後も、海外のクリエイターとコラボレーションしながら、日本の子どもたちに向けて子どもたちの創造力を刺激するデジタルえほんアプリを普及して参ります。

デジタルえほんアプリ詳細



タイトル:	おきられなかったら どうする？ (原題:But That Won't Wake Me Up!)
価格:	400円(税込)
App Store:	https://itunes.apple.com/jp/app/okirarenakattara-dousuru/id1137853525?ls=1&mt=8
Google Play:	https://play.google.com/store/apps/details?id=com.adarnadigital.ButThatWontWakeMeUpJapanese
販売元:	Adarna House Inc.,株式会社デジタルえほん
条件:	iOS 6.0 以降。iPhone、iPad、およびiPod touch に対応。 Android 要件4.0 以上。

制作著作: Adarna House Inc. (フィリピン)、株式会社デジタルえほん (日本)

ウェブサイト: <http://digitalehon.net/project/app/009/index.html>

●物語

「おきられなかったら どうする？」はAnnie Pacaña-Lumbaoと娘Anelka Lumbaoの手掛けた、心温まる母娘の物語です。次の日の朝、早く起きられるかとも心配なまやちゃん。目覚まし時計を鳴らしてみてもどうだろう？鶏に歌ってもらったらどうだろう？まやちゃんとお母さんは、たくさんの面白いアイデアで、朝早く起きる方法を考えます。母と娘が繰り広げる楽しい会話を是非お楽しみください。

●受賞歴

紙の絵本：Filipino Readers' Choice Awards (2012)受賞

デジタルえほん：第4回デジタルえほんアワード入賞

●特徴

子どもたちのアイデアを
反映：

「おきられなかったら どうする？」は子どもに認められた、子どものための物語です。学校に通う100人以上の子どもたちにアプリを体験してもらい、物語やイラストについてのフィードバックや感想を参考に作品をつくりました。

インタラクティブな
仕掛け：

デジタルならではのインタラクティブな仕掛けが満載！物語に登場するたくさんのお友達やイラストをタップして、どのように動き出すのか試してみましょう！

音とビジュアル：

アクリル絵の具を使ったコラージュ、また色鮮やかな心温まるイラストレーションは多くの人を魅了します。また、ワクワクする音楽や驚きの効果音は必見です。

音声の録音：

自分の声を録音して、絵本の読み聞かせができます。

言語：

3か国語に対応！日本語、英語、フィリピン語でお楽しみいただけます。



本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先

●株式会社デジタルえほん 担当：増田 E-mail：info@digitalehon.net

株式会社デジタルえほん **デジタルえほん**

株式会社デジタルえほんは、“こども”×“デジタル”を総合プロデュースする会社として、2011年設立。21世紀を生きる子どもたちのために、今までにない表現様式やコミュニケーションを生み出す「デジタルえほん」の開発・普及を行っています。デジタルコンテンツの企画・開発・研究や参加体験型ワークショップなどの教育プログラムの開発、国際デジタルえほんフェアやデジタルえほんアワードの開催など、活動範囲は多岐にわたっています。 <http://digitalehon.net/>